

●三位一体後第十五主日

泉のほとり

今月の詩編「第一編」

いかに幸いなことか

神に逆らう者の計らいに従って歩まず

罪ある者の道にとどまらず

傲慢な者と共に座らず

主の教えを愛し

その教えを昼も夜も口ずさむ人。



信仰には行いが伴う

「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません」と語られたヤコブの手紙の1章。2章では、教会の中で人を外見やうわべで判断し、立派な身なりの人には特別に目を留め、貧しい人を見下すようなことに、「神は世の貧しい人たちをあえて選んで、信仰に富ませ、ご自身を愛する者に約束された国を、受け継ぐ者となさったではありませんか。だが、あなたがたは貧しい人を辱めた」と語られました。これこそ、隣人を自分のように愛するという御言葉を聞くだけで終わる、ということでした。

ヤコブは続けて「私の兄弟たち、自分は信仰を持つていると言う者がいても、行いが伴わなければ何の役に立つでしょうか。そのような信仰が、彼を救うことができるでしょうか」と述べました。更にたとえて話します。「もし、兄弟あるいは姉妹が、着る物もなく、その日の食べ物にも事欠いているとき、あなたがたの誰かが、彼らに、『安心して行きなさい。温まりなさい。満腹するまで食べなさい』と言うだけで、体に必要なものを何一つ与えないなら、何の役に立つでしょう。信仰もこれと同じです。行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです」と。

ヤコブは「行いの伴わないあなたの信仰を見せなさい」と語りかけ、更に「あなたは『神は唯一だ』と信じている。結構なことだ。悪霊どももそう信じて、おののいています」とも語りました。ヤコブは「行いの伴わないあなたの信仰を見せなさい」と語りかけ、更に「あなたは『神は唯一だ』と信じている。結構なことだ。悪霊どももそう信じて、おののいています」とも語りました。そのような言葉は悪霊どもも言える。しかし、それを信仰とも、神を知っているとも言わな

いのです。
ヘブライ語で「知る」というのは「ヤード」と言い、頭での理解という意味ではありません。それは経験を伴う「知る」です。「キリストを知る」というのは、この方の人格に触れ、キリストのご人格を経験して知るという意味です。その知識が行いにも現れることが、キリストを知るといふことです。

使徒パウロの「人が義とされるのは律法の行いによるのではなく、信仰による」と教えました。それはヤコブの「人は行いによって義とされるのであって、信仰だけによるものではありません」という教えと矛盾しているものはありません。

使徒パウロが否定した「行い」とは朝礼を受けたから、安息日に床を担いで物を運ばないから、食前に手を洗うから、自らを聖とし、義とする、人を偽善に陥れる偽りの教えのことでした。

主イエスは「わたしのこれらのことはを聞いて、それを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人」、「行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人」、「『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入る」と語られました。使徒パウロ「行いではない」との教えは、この主イエスの教えを否定する「行い」ではありません。

使徒パウロも「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。行いによるものではありません」と語りつつ、「実に、私たちは神の作品であって、よい行いをするためにキリスト・イエスにあつて造られたのです」と教えています。どういふことでしょうか。

ぶどう園のたとえ話で、午後5時に雇われて1時間しか働いていないのに「デナリオンもらった人は、次の日には朝早くから来るのではないのでしょうか。拾っていただいたことを感謝し、誰よりも仕事に誠実を行うのではないのでしょうか。

十字架を通して主イエスがよい種を蒔いてくださいました。受けた恵みの大きさをいつも心に刻み、へりくだった午後5時の人の心で、キリストの恵みの御業が示す、行いに生きようではありませんか。

信仰には行いが伴います。霊のない肉体が死んだものであるように、行いを伴わない信仰は死んだものです。自由をもたらすキリストの御業は、生きている神の力です。私たちがキリストによってよき行いのために召されたその事実を心に止め、私のうちに生きて働かれる「キリスト」を表して生きたいと心から願います。

(ヤコブ二章一四〜二六節 黄允湜牧師)

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

- 礼拝後、交わりの会を地下ホールで行います。
- 次回の洗礼式と転入会式は二月二二日のクリスマス礼拝の際に行う予定です。受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、一〇月五日(日)までに牧師宛ご提出ください。願書は教会事務所にあります。
- 保川幹代姉の葬儀を一〇月二六日(日)午後二時から執り行う予定です。

《教育奉仕委員会より》

本日、主日礼拝後、すぐに地下ホールで皆様の愛唱讃美歌をご一緒に讃美する「交わりの会」を開始いたします。皆様、どうぞお集まりください。楽しみにお待ちしております。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《運営委員会より》

「キリスト品川教会教規」の説明会を、本日ホール集会に引き続き、地下ホールで行いますので、教会員の方はご参加ください。時間は三〇分くらいです。なお「キリスト品川教会教規」をご持参ください。

《祈りの会より》

本日「祈りの会」を開きますので、皆さんご参加ください。開始時間はホール集会(讃美の会)や教規の説明会などのあと一五分後くらいからです。場所はカナルームです。

《奉仕カテゴリーより》

一〇月二二日(日)の午後に、キッチン冷蔵庫、冷凍庫をメインに大掃除を行います。ご協力いただける方は、以下の日時にお集りください。

日時：一〇月二二日(日) 一二時三〇分〜一四時三〇分

場所：地下キッチン

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

（司・会）の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和
します。

【詩篇一篇】

いかに幸いなことか

神に逆らう者の計らいに従って歩まず

罪ある者の道にとどまらず

傲慢な者と共に座らず

主の教えを愛し

その教えを昼も夜も口ずさむ人。

その人は流れのほとりに植えられた木。

ときが巡り来れば実を結び

葉もしおれることがない。

その人のするとはすべて 繁栄をもたらす。

神に逆らう者はそうではない。

彼は風に吹き飛ばされるもみ殻。

神に逆らう者は裁きに堪えず

罪ある者は神に従う人の集いに堪えない。

（司・会）

神に従う人の道を主は知っていていてくださる。

神に逆らう者の道は滅びに至る。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「発見された神の言葉」

聖書 列王記下22章8〜13節

説教者 吉村和雄名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「天におられる父に祈る」

聖書 マタイ6章5〜15節

説教者 吉村和雄名誉牧師

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 90番 254番

説教 「神の前に正しい心」

聖書 使徒8章9〜25節

説教者 宮間彰広兄





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 12番 339番
説教 「舌は疲れを知らない悪」
聖書 ヤコブ3章1節～12節(新約 P.424)
司式 石川一 兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「トッカータ ハ長調」J.P.スウェーリンク

○讃美歌12番

- 1.めぐみゆたげき主を ほめたたえまつれ
そのみいつくしみは ときわにたえせず
すくわれしみたまよ おごそかにうたえ
「あわれみとまことはかわることなし」と
- 2.なやみせまるときも み名をよばわれば
主はこたえたまいて この身をばすくい
いとひろきところに いこわしめたもう
主ともにましませば われにおそれなし
- 3.くつるものをすてて みくににあこがれ
ひとにたよらずして みちからをたのみ
わがすくいわが主を つねにしたいつつ
よろこびのうたもて 御名をほめたたえん

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○讃美歌339番

- 1.君なるイエスよ けがれし我を
洗いきよめて めぐみを賜え
わが日 わが時 わがもの皆は
今よりとわに 君のものなり
- 2.わが手は君の み業をならい
われの歩みは み跡をふみて
いそしみ進み 主の御力に
常にたよりにて 強からしめよ
- 3.われの舌をば すくいの主の
恵みをうたう 器となして
わが口唇に よき音ずれを
溢るるばかり 満しめたまえ
- 4.黄金 しろがね 知恵も力も
献げまつれば みな取り用い
我のころを 宝座となして
み旨のままに 治めたまえや

アーメン

聖餐曲「わが青春は過ぎ去り」J.P.スウェーリンク

後奏曲「プレリュード ハ長調」J.P.スウェーリンク